

2014

大和川小発！

ジオパークの海と向き合う地域防災教育

糸魚川世界ジオパークの
海と大地と人が大好き！

だから、
防災教育チャレンジプラン

全校児童185名 元気に登校！

新潟県 糸魚川市立大和川小学校



命はぐくむ糸魚川世界ジオパークの恵み

輝きの街 糸魚川 大好き！



雪の恵み



海の恵み



川の恵み



大地の恵み



人の絆

自然、人財、歴史、伝統文化、産業の宝庫！

だから ここ 糸魚川がいい！

糸魚川世界ジオパーク と 共生して生きぬく子どもたち

災害のデパート

地震・津波・高波、水害、強風、土石流、
地滑り、豪雪、火山(新潟焼山)



高波襲来の津波被害



駅道の号機と、JR線



大和川小 防災教育2014

命守り隊・絆築き隊・ふるさと守り隊

地域は「学校・教室・先生・教科書・家族」

命

共

糸魚川世界ジオパーク
自然・人・社会

生

ひとりで
(自助)

みんなと
(共助)

さらに (挑戦)
(いつでもどこでも活用)

防災力

畏敬の念

命守り隊

自分の命 みんなの命！
命のリレー！

帰ってこおーいよ！



＝サケの採卵・受精・飼育・放流＝
命のリレー！子どもの手で 命 実感！

命守り隊

「いただきまあーす！」

里山は食料備蓄庫

2年 夏野菜パーティー！



3年大豆の栽培と豆腐作り

4年ソバの栽培と手打ちそば



5年ひすいの里発コシヒカリ作り

命守り隊

里山の命とふれ合う



里山の生き物調べ

発見！ツチガエル



ウサギ温かいよ！



マハゼ
アユ
ヨシノボリ
サワガニ
捕まえた！

思いやり・連帯感

絆

家族

友達

地域

絆築き隊

ふれあい 絆



赤ちゃんとは仲よし！

「ジャガイモのガレット完成！」
ふるさとクラブ



お年寄りとは仲よし！

ふるさと
糸魚川世界ジオパーク

おもしろ体感

愛着

誇り

拠り所

なるほど
ぎ
ジパーク
ふるさと守り隊

漁師さん(保護者)から魚の話聞く!



ヒスイの海
大好き!

糸魚川青年会議所と
海のコラボ!

一汁三菜料理作る
カマスを調理



なるほど
ぎ
ジパーク

雪は友達!



海は友達!



なるほど ぎふるさと守り隊

小滝ヒスイ峡



まが玉作り

能生弁天岩



海底火山噴出物と砂岩・泥岩観察



フォッサマグナミュージアム

災害は、忘れた頃にやってくる！

ひとりで(自助)、みんなと(共助)、
さらに(挑戦 いつでも・どこでも)

～ 想定にとらわれるな ～

<大和川海岸・・・想定津波の高さ：約 5 m >

※1分で到達か！

<糸魚川海岸・・・想定津波の高さ：約 12 m >

<太平洋側・・・想定津波の高さ：数 10 m >

(2014年8月26日政府公表「日本海側大地震の調査報告より」)

過去に学ぶ・・・高波災害・繰り返しの水害
<日本海に面し、山を背負い、排水の悪い土壌>

ひとりで 命守り隊（自助）

自分の命は自分で守る4か条

- 自分1：防災に関する知識
- 自分2：危険を察知する感覚
- 自分3：知識、感覚をもとに、正しく判断する力
- 自分4：安全に避難する行動力



日常防災

水害を学ぶ！

保護者も一緒に考えました。

授業で学ぶ防災学習
(新潟県防災教育プログラムの活用)

ひとりで **いつでも、どこでも安全に**

日常防災



緑色は、海拔10m以下

ブロック塀
に注意

電信柱に注意

登下校途中・遊んでいる時・家にいる時等、
避難する時どんなことに注意が必要か確認！

ひとりで

児童なかよし
防災委員会の活動



防災知識
判断力
行動力

繰り返しの**意識啓発！**
ミニミニ情報発信で
防災力 アップ！

「地震発生、直後の10秒にできることは？
ゆれたら、机の下にもぐりましょう」

ひとりで

日常防災

毎月の全校朝会での 防災教育



【7月の校長の話】
2011年7月11日
「糸魚川で発生した
水害」の話！

【9月の防災主任の話】
「9月1日は、何の日で
しょうか？」
「そう、防災の日です。」
「1923年9月1日に
発生した関東大震災に
ちなんで制定されました。」
「校長先生の誕生日でも
あるんですよ。」

ひとりで

防災行事

火災対応避難訓練

足元に気をつけて！
防火扉は、
自分で開けます。

実践で検証！



煙体験。しゃがんで、
身をかがめます。

津波対応避難訓練 (3階へ)

ひとりで

防災行事

津波想定の避難訓練

3分が勝負！ウルトラ
マンで3階へ避難！

繰り返し



とにかく、高い所へ
避難！（どこでも！）

学校の3階は、標高約15m！

ひとりで

防災行事

「地震体験車」で
中越地震 体感！



百聞は、一体験に如かず！

ひとりで

防災教育に関する 校内研修

市消防本部の職員を
講師に迎えて！
全職員がその時 判断を！



消火栓 放水訓練

日常防災

みんなと 命守り隊（共助）

みんなの命は、みんなを守る3カ条

みんな1:ふるさとに愛着と誇りをもつ

みんな2:「思いやり、助け合い」の心をもつ

みんな3:「学校・家庭・地域」の連携の強化



みんなと

防災を意識した 運動会

防災行事



バケツリレーに、
地域チームも参加！



市消防署員による
高所救助訓練



地域消防団による規律訓練！

連携
助け合い

みんなと

地域防災会議

地域連携

思いやり
つむいで

各地区の計画を学校で一つに



地域、保護者、学校が連携し、
市総合防災訓練の綿密な打ち合わせ

みんなと

地域連携

糸魚川市総合防災訓練

2014

洪水、土砂災害を想定



2013
津波想定

- 休日開催
- 学校（児童）、保護者が地域活動に参加

学校・家庭・地域の連携

みんなと

防災行事

防災かべ新聞 コンクールへの参加



- 新潟日報社 主催
- 4年生児童が参加
- 児童が自力で、防災に関する情報を収集して編集！

みんなと

異学年集団 縦割り班活動

日常防災

「みんなで食べると、
おいしいね！」



がんばりを
認め合う活動

仲間意識 グ〜ンとアップ！

みんなと

防災クイズラリー

防災行事

チームで協力
風船バレー



防災クイズ
「消防車と救急車は119、
海の事故は〇〇〇」

仲間意識を高め、協力して解決！

みんなと

地震対応避難訓練 (高台へ)

防災行事

ペア学年で協力して、
高台へ避難



11月5日「津波防災
の日」に合わせて実施！

みんなの命はみんなで守り隊

みんなと

炊き出し訓練

防災行事

協働して生き抜く知恵や
思いやりの心と態度が
身に付きます。



「いつでもどこでもかま
ど」で研がずに米が炊け
る袋(お袋の技)でご飯を
炊き、豚汁を作りました。



みんなの命はみんなで守り隊

さらに 命守り隊(挑戦)

☆いつでも(大人になっても)

☆どこでも(どこで生活しても)

- ・ 命への畏敬の念
- ・ 生活力(炊飯力・協力)
- ・ 防災力(繰り返し、一人でも避難)
- ・ まろやかな心(思いやり)

さらに

「防災教育掲示板」 常設！

日常防災



2年連続、防災教育
チャレンジプランに
取り組んでいます！

「地域内のどこにいるか
によって、避難場所が
違うんだね。」



さらに

地域主催

地域連携

「子どもキャンプ」



2014

災害時に役立つロープの結び方を習ったよ！



自炊で生活力アップ！



2013

夜中に突然の雨で避難！



地域の専門家による防災訓練！

さらに

普通救命法の講習会

地域連携



学校職員と保護者、地域住民と一緒に学びました。

さらに

学校便りによる家庭、地域への啓発

地域連携



防災教育を
意識した
運動会

糸魚川地域
津波最大波高
約12m

毎月、防災教育関係の記事を掲載！
地域全戸に配付しています！

さらに

通学路安全点検

地域連携



「みんなの命は
みんなで守る！」

国土交通省、県、市、地域、警察、保護者が連携



成果①「長野県北部地震の対応」

- 11月22日（土）22時08分頃 発生
- 糸魚川市で震度4
- 教職員の迅速な対応
 - ・ 緊急連絡網（防災マニュアルに沿って）
 - ・ 学校に駆けつけ、校内巡視、地域巡視
 - ・ 翌朝、電話で児童の安全確認
- 事後アンケートの実施（児童、保護者）
 - ・ 自分で判断し、行動できた児童 60%
（机の下にもぐるなど）

成果②「児童アンケートより」

質問	1学期（%）	2学期（%）
生活科や総合的な学習の勉強に進んで取り組んでいます。	91.3	90.8
話す人の方を見て、話を最後まで聞こうとしています。	90.8	89.7
自分や周りの人の安全に気をつけて行動しています。	94.0	93.0
地震、津波、水害、火事などが起きた時、一人でも安全に避難する方法が分かります。	<u>98.4</u>	<u>97.7</u>
友達と力を合わせて活動することができます。	96.7	89.7
困っている人がいたら、やさしい言葉がけをしています。	<u>94.0</u>	<u>91.4</u>

成果③「保護者アンケートより」

質問	1学期	2学期
学校は、児童が自分を振り返り、 友達とかかわる力をつけるために 、学校行事、学年活動、縦割り班活動等に工夫して取り組んでいる。	99.0	99.0
学校は、児童の防災意識を高めるため、安全・ 防災教育を行っている 。	99.0	99.0
児童は、 相手を思いやり 、丁寧な言葉遣いをしている。	<u>72.0</u>	<u>77.0</u>
児童は、 ルールやマナーを守って 行動している。	91.0	92.0
児童は、登下校や自転車乗りなど、自他の 安全に気をつけて 行動している。	94.0	96.0
児童は、 災害（地震、津波、水害等）についての対応 を考えている。	<u>83.0</u>	<u>81.0</u>

成果④「児童について」

- 児童は自然環境のもつ両面（恵みと災害）を関係付けて考え、**自然との共生**を身に付けることができた。
- 地域に**愛着**をもつ児童が育っている。
- 児童の**防災意識**が高まっている。
- 児童に「安全に避難するための**知識、感覚、判断力、行動力**」が身に付いてきた。
- 児童は仲間同士で**協力**し合い、**助け合える**ようになってきた。

成果⑤「地域との連携について」

- 学校・家庭・地域の防災への**意識が高まった**。
- 学校・家庭・地域の三者が協力して、防災力を高める**連携体制**が整ってきた。
- 関係機関**（国土交通省、新潟県、糸魚川市）との連携体制が整ってきた。
- 市内の小・中学校へ**発信**
 - ・市防災教育研修会で当校の取組を紹介
 - ・市校長会で発表

今 後

- 1 ふるさと**に愛着と誇り**をもち、**心の拠り所**となるよう**おもしろ体験**を積み重ねる。
- 2 自分の安心安全を**守る工夫**をする。
- 3 **定期的**に学校・家庭・地域が防災を話し合う。
- 4 **繰り返し**地域や学校での避難訓練を実施する。
- 5 防災情報を収集し、**発信**し続ける。
- 6 「いつでも・どこでも」役立つ防災力を**磨く**。
- 7 「ひとりで・みんなと・さらに」防災力を**高める**。

命 守り隊 絆 築き隊 ふるさと 守り隊

隊長 吉田 一郎 (校長)
副隊長 岩月 高峰 (教頭)
主任 小野 聡 (教務主任)
隊員 渡辺 修司 (研究主任)
教職員 全員
全校児童 185名
応援・協力・参加 保護者・地域のみなさん

ご静聴 ありがとうございます。